



NPO日本朗読文化協会

# 朗読ニュース

2009 年秋号



8月15日「声に出す平和への祈り」於高輪区民センターホール



## 城所ひとみ 理事長



10月を迎えちょうどNPO日本朗読文化協会の上半期が終わり、これからは下半期に入ります。どちらかと言うと、上半期には博品館の「朗読の日」、「平和の祈り」などの大きなイベントがありそのうえ、決算、総会とNPO日本朗読文化協会には大事な会議などが続きます。特に今年は事務局が一新され運営委員の皆さんにも大変協力をして頂き、なんとか乗切ってこれました。

ところで会員の方々にはこの運営委員会がどんな構成で、何をしているのかあまり知られていないのではないかと思いますので、少しご紹介をさせていただきます。そもそも運営委員会は私が全くその活動の中味も運営もわからない状態で協会の理事長に就任し、そこで私をサポートして頂きたいと思い、故草苺副理事長と相談し、人選し、立ち上げた会でした。その後この会がNPO日本朗読文化協会のイベント、行事の推進役となり、毎年の「朗読の日」、「平和の祈り」等たくさんの方の力を借りて下さっています。

しかしこのNPO日本朗読文化協会もかなり大きな組織になり、私自身が本来の理事長の責務に邁進するために、運営委員長を辞任することに致しました。私を助けてくださいました運営委員には心より感謝申し上げます。皆ボランティアとして協会のために尽くして下さった方達です。今後は委員長阿部義高氏、副委員長坂本有子氏で引き続き運営委員会を束ねていただくことになりました。

今後とも協会の皆様のお心、ご協力をよろしくお願い致します。

## 有賀 康子 理事



理事をお引き受けして3年。

その間、様々な問題が山積され、その一つ一つを試行錯誤しながら手探りでこまめにまいりました。

故草苺様の情熱に後押しされ、考えることはNPO日本朗読文化協会がどうしたらこれから発展して行くだろうか？と云うことに心を砕いた様に思います。

この度すばらしい4名の新理事と事務局長をお迎えし、朗読を通じて文化の向上と社会への貢献のためご協力下さることになり大変心強く思っております。

会員各個人の目標は違っているとは思いますが、よりすばらしい協会への発展のため一人一人が考え、声に出すことが大切ではないかと思います。朗読に対する熱い思いは会員の共通した所です。その力は大変大きいと常々感じております。協会はだれのものでもない、会員一人一人のものであります。私も微力ながらお手伝いさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

## 飯島 晶子 理事



「朗読の楽しさをもっとたくさんの人と共有できたら・・・」理事とは言うものの、私が創立当時のNPO日本朗読文化協会に8年前参加したのは、恥ずかしながら単純な動機でした。

朗読の原点は、祖父の布団の中で聞いたいろいろな話、それは、昔話だったり、落語だったり、時には作り話だったり。しかし温もりや匂いととも、伝わって来る「声」は、聞き手（私ですが）を十分に楽しませてくれるものでした。

声の旧漢字を思い出してみてください。

### 聲

「耳」がとっても大きい位置をしめているんですね。誰かに投げかけ耳で聞いてもらうのが声。相手があるからこそ、声もあり、「朗読」もある。この姿勢を頭の隅っこにおきたいと思えます。

協会には、いろいろな地方の会員のかたもいらっしゃいます。協会からのトップダウンでなく、土地に伝わる民話や文学を通じての交流がもっとさかんにならないのでしょうか。読む楽しさ聴く楽しさを、より高めるためにすべきことは何か・・・

「朗読」を通じて可能な呼びかけは何か。

終着点のないそんなことをふと考える昨今です。

## 阿部 義高 運営委員長



夢！

私が日本朗読文化協会に入会したのは、四年前でした。サラリーマン時代から、一度演劇をしたいと思っていました。演劇には、朗読が必要と思い当協会に入会しました。趣味を生かす為のものでした。しかし、当協会の主旨を考えれば考える程、NPOの文字が私にとって大きなものになってきました。

朗読を、楽しむだけでなく聞く事を喜んで下さる人の如何に多い事か。そして、その為に日夜頑張っているいらっしゃる会員や進んでボランティア精神を発揮されている会員のご努力に感激して、朗読の勉強をしつつ協会の発展に寄与できればと、三年前から一運営委員として参加してきました。

当初は、協会運営に必要な活動資金を得る為、協会が事業にスタンスをおく事に賛成もし、また反発もしていました。

此度、運営委員長をお引受けし、より一層協会の発展一出来る丈多くの人に参加して頂き、朗読を求めている沢山の皆さんに、私達が如何に応えられるかを考えました。協会員の数を増やすこと。そして朗読を一生懸命勉強すると同時に、楽しむ朗読を皆さんに届ける事を目的に頑張りたいと思います。あくまでNPOですので、楽しく、喜んで朗読に励みボランティア活動をしたいと思えます。そして多くの朗読ボランティアが増えることを望みます。

## 俳句

高橋 俊二

私は、小学校での「猫また」（『徒然草』）の授業に凝っています。あちこちで二十回以上行いました。五、六年生であれば、四十分の授業で、笑い声上がるほどのところまで持ち込む自信があります。昨秋は、広島の実式学級で楽しんできました。

「猫また」を読む子ら笑顔柿紅葉 俊忘

香港日本人学校でも、二度やりました。

今、国語科の授業で、民話や古典の、語りや読み聞かせや朗読や群読が大切にされようとしています。私も、推進しています。

昔の言葉は、声に出して読んだり語ったりすることによって、深く、楽しく味わうことができます。楽しい話は楽しく読みたい、そう思います。

小声で言いますが、私には、朗読のほかに楽しみたいものが一つあります。次の内、どれか。

宮島や焼き牡蠣六子温め酒 俊忘

四回のお付き合ひ、有り難うございました。

## 活動報告

### 八重洲朗読会報告

八重洲朗読会は8月はお休みで9月は12日（土）に開催致しました。毎回恒例となっておりますコンクール入賞者、最後の出演は、はるばる秋田からいらした塩田睦子さんでした。出演者の皆さんそれぞれバラエティーに富んだ作品でお客様に楽しんで頂きました。



さて、この八重洲朗読会ですが、「どうしたら出演できるの？」というお問い合わせをよく頂きますが、まず当協会の会員であることが第1条件です。そして協会事務局宛にテープ、MD、CD いずれでも構いませんから応募のデモテープを送ります。作品は八重洲で読もうと思う作品の得意な箇所を5分間録音してください。それを飯島、河崎の両先生がお聴きになり、合格したかたは、八重洲朗読会員として出演できます。八重洲は少しハードルが高いかもしれませんね。まだ八重洲会員になっていらっしゃらないかた、是非チャレンジしてみてください。（宮崎弥生）



### 「かもめ」報告

渋谷区総合コミュニティ『せせらぎ』

「せせらぎ」の特徴は、  
①スタッフの方々が明るく協力的です。

②通所者がお元気で活発です（現在102歳、107歳の（女性）方も通所されています）。作品のリクエスト依頼もたまにあります。

③駅から「せせらぎ」へ通う道筋には緑道があり、また敷地内も緑に囲まれて四季折々の変化が楽しめます。

\*9月の訪問の折には、こんなことがありました。

「敬老の日」が近かったので、お一人ずつに質問のマイク向けました。いつも活発な山辺さんが沈んだご様子（腰痛を病んでいたのです）。そこで…“山辺さんは歌がお得意でしたよね、氷川きよしの「白雲の城」を以前に聞かせて頂きましたけど、また聞かせてもらえますか？”とお願いしたところ、山辺さんはマイクを握って十八番の〈白雲の城〉を朗朗と歌い上げ、お仲間、スタッフの方々から拍手喝采を受けました。山辺さんのお顔に笑顔が戻ってきたのです！この“笑顔”が皆さんにも伝わり、明るく幸せな気持ちで終ることが出来たのです。相手が話されたことを覚えていて、何気なく問いかけた事が役立つ一例です。こ



こ「せせらぎ」では「かもめ朗読会」を楽しみにしている様子が、訪う私達に感じられる場所です。（本間恵子）



# 声に出す平和への祈り

毎年恒例の平和への祈りが8月15日に開催されました。多くの皆様に参加していただきました。



## ハープ、シンセサイザーが奏でる鎮魂の祈り

毎年恒例の平和への祈り、今年も皆様方の御協力のお陰で無事終了する事が出来ました。この度ゲストとして、音楽家八木健一、ゆみ子御夫妻をお招きし静粛で厳かな雰囲気の中ハープとシンセサイザーの演奏で東京大空襲犠牲者を悼む曲「祈り・光」を披露して下さいました。今は亡き、父上様の家族四人を失った悲しみ経験は、長い間、息子である健一氏にも話す事は、なかったそうです。後日、遺稿の中より空襲の激しさ、母弟三人をきちんと弔ってやらなかった無念の気持ちが書かれていたそうです。

御二人は父上様の苦しみを知り、戦火から、六十四年、二度と戦争はしてはいけない。そして音楽家として犠牲者の魂を癒す事が出来ればと各地で演奏をし、新聞紙上で絶賛を浴びました。このお忙しい時間の中私達協会の催しに御出席下さいました事は、本当に感謝の念で一杯でございました。又、御縁とは不思議です。大岡忠男様、亀谷敏子様、御二人が自らの戦争体験を話して下さいた事になり今迄にない感銘を受けました。青山中学の若く次世代を引きつぐ生徒さんの朗読、協会員の朗読、献読者の皆さんも、お一人お一人心を込めて読んで下さいました。心より平和を願い、戦争の悲惨さを語り、二度と戦争が起きないように、少しでも私達がお役に立てられたらと、この日を大切にしていきたいと願っております。

会員の皆様

一年一回の“声に出す平和への祈り”に御都合つけて観客として参加して下さいたくお願い致します。(安田綾子)



# 声に出す平和への祈りで演奏して 八木健一

私がハープを習い始めたのは小学校6年生の秋で、私は何不自由無く育ち音楽の道に進んだが、その傍らには、そんな私が成長する姿に目を細めて見守る父の姿があった。私にとって、父はいつも明るく頼もしく、息子の前で弱音など微塵も見せたことがなかった。

3年前父康二が八十歳で急逝し、父の遺品を整理する中に、便せん五枚にボールペン書きされた「東京大空襲への意見書」が見つかった。私はこれを読んで、これまで私たち家族には決して見せたことの無かった、父の秘めたる無念さを思い知らされ驚愕した。「あの空襲のあった九日の夜、逃げ場を失い肉親家族四人を失った者の悲痛な叫びを聴いてもらいたい」と、その場を体験した父の魂の底から絞り出すような切々たる叫びが響いてきた。「そうだ、お父さんにとって人生でやり残したのは、空襲体験を伝えきれなかったことではないか。だとしたら、息子として私にできるのは、音楽家としてそれを音楽で引き継いでゆくことが父の意志を継ぐことになるのではないか？」という想いが湧き上がってきた。その後、

私は導かれるように「三月十日の東京大空襲を語り継ぐつどい」のため妻がこの空襲をテーマに作曲したオリジナル二曲を演奏し、昨年の三月にCDとして発表し、さらに今年三月十日に、父の母校で全校生徒達を前に演奏する機会に繋がった。たまたまそれが朝日新聞に紹介され、その記事を読まれたNPO日本朗読文化協会の方の目に止まり、今年の「声に出す平和への祈り」でこの二曲を演奏させていただいた。

私にとっては無縁であった戦争や空襲が、亡父の願いを引き継ぎたいと願った瞬間に、様々な皆さんからの助力によって、演奏する機会へと繋がっていく事に感謝している。これからも父から私にいただいた平和の願いを受け継ぎ、平和を希求する輪が広まるよう、ハープを奏で続けたいと願っている。



八木 健一・ゆみ子 夫妻

「港区文化芸術振興基金助成事業」 主催：NPO日本朗読文化協会 共催：港区教育委員会  
後援：kiasポト射団・キングレコード(株)・八重洲ブックセンター

## 第4回 朗読コンクール

### 参加者募集



夢も、力も、舞台でためす。舞台で競う。

- 審査員 加賀美幸子(NHKキャスター・当協会理事)・太田治子(作家)・中田薫(元NHKアナウンス室長)・港区関係者・当協会講師ほか
- 会場 港区赤坂区民センター 区民ホール
- 参加費 ①一般の部 予選/3,000円(テープ審査料・連絡通信費) 本選/5,000円(1次・2次を含む)  
②大学生の部 今年度より新設。第一回記念として審査料無料(但し連絡通信費1,000円)  
各部申込書を添えて2009年11月30日(月)必着
- 審査日 ★予選(MD,CD,テープによる審査)：2009年12月20日(日)必着  
結果発表 年内 各20人選出  
★本選第1次 2010年1月30日(土) 各10人選出  
★本選第2次 2010年1月31日(日) 優勝・入賞者決定
- 賞品 【優勝者】一般 金5万円 銀座博品館「朗読の日」公演出場権ほか  
大学生 金3万円 銀座博品館「朗読の日」公演出場権ほか  
【入賞者】協会主催朗読会招待出演 その他賞品
- お申し込み 裏面の募集要項をお読みになり、応募申込書を当協会事務局までお送りください

### 参加者募集中！！

## 第4回朗読コンクール

■審査員 加賀美幸子(NHKキャスター・当協会理事)・太田治子(作家)・中田薫(元NHKアナウンス室長)・港区関係者・当協会講師ほか

■会場 港区赤坂区民センター 区民ホール

■参加費 ①一般の部 予選/3,000円(テープ審査料・連絡通信費) 本選/5,000円(1次・2次を含む)  
②大学生の部 今年度より新設。第一回記念として審査料無料(但し連絡通信費1,000円)  
※各部申込書を添えて2009年11月30日(月)必着

■審査日 ★予選(MD,CD,テープによる審査)2009年12月20日(日)必着  
結果発表 年内 各20人選出  
★本選第1次 2010年1月30日(土) 各10人選出  
★本選第2次 2010年1月31日(日) 優勝・入賞者決定

■賞品 【優勝者】一般 金5万円 銀座博品館「朗読の日」公演出場権ほか  
大学生 金3万円 銀座博品館「朗読の日」公演出場権ほか  
【入賞者】協会主催朗読会招待出演 その他賞品

■お申し込み 当協会事務局へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-8-8 赤坂フローラルプラザビル 3F  
TEL:03-3584-4451 FAX:03-3584-4452  
E-mail:npo-rodoku@rodoku.org  
http://www.rodoku.org/



朗読活動—私がおばあさんになっても

▶ 私が朗読を始めたのは 8 年前。NPO 日本朗読文化協会に入会し、4 年ほど経ちます。東京での朗読は八重洲ブックセンターでが初めてでした。どんなに緊張したことが…。今ものどの渇きを覚えるぐらい(笑) 鮮明に覚えています。そして博品館劇場での大舞台、終わってから DVD を見、聞いてみると、読みが早かったなあと後悔しきり…。そして昨年からの朗読アラカルトと、出演のつど、楽しい緊張と深い喜びを感じています。



▶ また、児玉朗先生や河崎早春先生の講習も受け、朗読への意欲もますます深まりました。東京の朗読会で、いろいろな方々とも知り合い、親切にして頂き、時間も忘れるぐらいに朗読談議で盛り上がりました。

▶ 現在住んでいる札幌での朗読活動を少しご紹介します。2002 年に朗読好きの主婦 5 人で<朗読グループ風の音>を結成し、学校や喫茶店で定期的な朗読を開始。その後、京都、札幌の大手書店、札幌市主催の「さっぽろアートステージ」FM ラジオ局での「朗読の時間」毎週担当などと、活動を広げてきました。

▶ 2007 年には、カナダの日系女性の啓蒙活動グループのセミナーで、初の海外朗読会。(メンバーの関口の紹介)

▶ 2008 年、源氏千年紀は 4 回の源氏物語朗読会。札幌で 2 回(北海道立近代美術館、札幌パークホテル)。京都でも、光源氏のモデルと言われる源融(とおる)ゆかりの別荘があった清涼寺と平等院で。(メンバー宮下の尽力)

▶ 2009 年、国際女性奉仕組織の一つソプロチミスト札幌に協力、チャリティー朗読会も行いました。

▶ 私は、朗読を通じて多くの人と出会い、本を通じて様々な人生、考え方、幸せの感じ方…。いろいろ学んでいます。

▶ こうして朗読を続けていけるのは、時に適切なアドバイスもしてくれる主人の優しさと理解のおかげとつくづく感謝している毎日です。これからも札幌にいて東京の刺激を受け、ますます喜んでいただける朗読を、できる限り長く続けて行きたいと思っています。

(五十嵐和子)



声のグループ「ひいらぎの会」

▶ 私の住む秋田市には、様々な朗読グループ、読み聞かせのグループ、秋田弁で語る民話の会などがあり、多くの市民がそれぞれのグループで活動しています。



語りの時間

▶ 声のグループ「ひいらぎの会」の活動は八年になりますが、春は文学作品を紹介する「語りの時間」、秋には童話や民話を紹介する「大人のための童話の時間」を定期公演として取り組んでいます。



▶ 朗読は声による表現です。大人のための童話の時間

ひいらぎの会は美しい日本語を生声で届けることにこだわっています。自然、会話は五十人程のギャラリーや蔵など、小さな空間で楽しんでいます。もう一つのこだわりは音、やはり生声にこだわります。ピアノやバイオリン、三弦や笛などの県内の演奏家さんにお願ひし、出演者の声にやさしく寄り添い物語を引き立ててもらいます。

▶ 今年五月には、秋田市の市制百二十周年に合わせ、故郷の文学に触れる機会を持つと、秋田市出身の作家の作品をピ

アノの音とともに紹介しました。金子洋文の「牝鶏」は農家の一人息子と一人娘の結婚をテーマにした戯曲ですが、これを秋田弁の朗読劇で表現し、会場を笑いに巻き込みました。

▶ 八月は琵琶の演奏を交えて小泉八雲の「ろくろ首」など三作品を紹介、ろうそくの灯りのもと、夏の夜を怪談で冷んやりと過ごしてもらいました。

▶ 十月の「大人のための童話の時間」は、いのち(生きる)がテーマ。初めて高校生が参加し、秋田市の童話作家ふえのひびきさんの「おなら玉プーちゃん」を朗読、好評を得ました。その他の六作品もギターのやさしい音色に乗せて紹介しました。



小泉八雲怪談

▶ 地方で朗読活動が続けるには、様々な作品に取り組みながら地元の作家の作品を大切に、方言による昔話や民話も語り継いでいかなければいけないと思っています。過疎化、高齢化が進む秋田にこれからもずっと住み続ける私ですが、朗読を通してささやかに故郷と関わっていきたく思います。(安部真寿美)

## ○ お便りご紹介



### ●飯島 晶子様より

10月16日(金)「浮世絵でつむぐ江戸物語」2009年度文化庁芸術祭参加公演(飯島晶子主催)満員御礼!

音楽之友社「教育音楽」11月号に、被爆ピアノ朗読コンサート「未来への伝言」記事が掲載されました。

### ●宮下 郁子様より



この度「古典の日」記念朗読コンテスト(「源氏物語」千年紀を引き継いだ組織)で京都府知事賞を受賞致しました。課題は松尾芭蕉の「奥の細道」です。学生時代好きだった一振の章、一つ家に

遊女も寝たり萩と月の句がある箇所を朗読しました。

古典の日推進およびかけ人には瀬戸内寂聴様、授賞式来賓には文化庁長官、審査委員長は俳優の児玉清様。日に日に、嬉しさが増し、まるで夢のようです。

思えば、協会に入会するきっかけも寂聴様の北海道での源氏講演でしたし、矢来の能舞台でも「源氏物語」の原文を読ませていただきました。私が、京都の源氏ゆかりの清涼寺や平等院で朗読できたのも源氏物語千年紀が御縁でした。到達点のない、奥深い朗読の世界に迷い込んだ私ですが、いつも扇の要のように「源氏物語」をはじめとする古典文学と、寂聴先生がいらっしゃると(勝手に)思っております。

『何でもやっごらん下さい。できる限りのことをお手伝いしますよ。』

とお手紙を下された草刈先生の声がきこえます。そして支えてくれる家族が、朗読の楽しさを共有できる仲間が、素晴らしい場を与えて下さる NPO 日本朗読文化協会が、後ろにいてくれる。全ての方に、ありがとう。

## 会員情報

- 2009年8月・9月・10月に入会された方々は以下の通りです。  
穴澤 修子、植田 聖子、河西 和子、中村 悦子 (敬称略・50音順)
- まだ会員継続手続きがお済みでない方は、至急ご手配くださいますようお願い申し上げます。

## 運営委員会

「運営委員会は 協会の事業を円滑に行うため、企画、実行、管理、報告を行う」と定款に記されています。

10月1日開催の運営委員会で次の通り委員長が交代しましたので、お知らせいたします。

新運営委員会委員長	阿部義高	
新運営委員会副委員長	坂本有子	
運営委員	有賀康子	田中邦子
	早川とし子	松島邦
	宮内佳代子	宮崎弥生
	安田綾子	渡部玲子
	(以上10名)	

## 編集後記

原稿をお寄せいただいた方々のご協力に感謝致します。

おかげさまで本号を出すことが出来ました。

私、入会して4年目に入りました。

この間、各朗読教室に参加しまして感じたことは、若い人が少ない、否、いないことです。

朗読に関心のある若い人が、当会に目を向けるようになるにはどうしたらよいか、

理事会、運営委員会で検討していただけないものかと思えます。

関心のない若い人をひきつけるものがあれば、なお結構なことです。(広報委員会 菊地宏)

## ■第2回朗読アラカルト

日時:12月19日(土)

10:30~16:30 (開場10:15)

【第1部】10:30~12:40

【第2部】13:10~15:20

【第3部】15:30~16:20

場所:赤坂区民センターホール

司会:飯島 晶子

主催:NPO日本朗読文化協会

## ■朗読教室

10月より開講しておりますが、若干の空きがございます。皆様のお問い合わせをお待ちしております。詳しい情報はNPO日本朗読文化協会HPよりご覧下さい。

児玉 朗 朗読教室:研究化コース《朗読は楽しい》

壤 晴彦 朗読教室:Aコース 仮名手本忠臣蔵

Bコース 滝口入道

Cコース 日本近代詩

高橋 俊三 朗読教室:朗読教室運営法研修講座

成瀬 芳一 朗読教室:「深川の鈴」川口松太郎作

河崎 早春 朗読教室:イメージを言葉にのせて

飯島 晶子 朗読教室:~心に響く作品を声に託して!~

新講座:特別講義「枕草子」講師 伊井 春樹氏(大阪大学名誉教授)

音声講座:講師 宮崎 弥生

朗読ニュース 2009年秋号 発行日 2009年11月16日

発行 NPO 日本朗読文化協会 理事長 城所ひとみ

〒107-0052 東京都港区赤坂3-8-8 赤坂フローラルプラザビル3F

TEL:03-3584-4451 FAX:03-3584-4452

E-mail:npo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/



# 瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」



## 源氏物語 上原まり

瀬戸内寂聴訳

千年前の王朝の世界へ誘います

- ◆ 空蟬・夕顔  
■ KICG15070
- ◆ 明石・松風・薄雲  
■ KICG15071
- ◆ 若紫(上・下)  
■ KICG15072
- ◆ 紅葉賀・花宴  
■ KICG15073
- ◆ 葵(上・下)  
■ KICG15074
- ◆ 玉鬘(上・下)  
■ KICG15075



好評発売中

CD全6タイトル  
定価・各2,000円(税込)



## 源氏物語

瀬戸内寂聴訳

心と心が響きあう朗読の魅力

- (Disc 1) ① 桐壺 ② 藤壺 ③ 空蟬 ④ 夕顔 ⑤ 若紫
  - (Disc 2) ① 末摘花 ② 朧月夜 ③ 六条の御息所 ④ 明石 ⑤ 源氏物語の魅力
- 朗読：NPO日本朗読文化協会会員  
宮崎弥生・秋山雅子・若瀬弥永子  
福田雅世・飯島晶子・安倍眞壽美  
坂本有子・加藤歌子・松島 邦

好評発売中

KICG-5068~69  
CD2枚組  
定価3,000円(税込)

【第42回】日本レコード大賞【企画賞】受賞作品!

## 昔話ふるさとへの旅

21世紀へつなげたい「ふるさとの昔話」。  
全国47都道府県を地元の言葉で現地録音。

全47タイトル  
好評発売中  
各定価 ¥2,000(税込)



【CD全47タイトル】■KICG-3181~3227 ジャケット表紙絵：鈴木ひろえ

市原悦子さんのナレーションで始まる「昔話」。

7年の歳月をかけて現地の語り手によって、生の声を  
現地収録いたしました。貴重な伝承文化遺産である「昔話」は、  
大人や子供達にとって大切な「心のふるさと」です。

7年の歳月をかけて現地で収録した全国47都道府県の「ふるさとの昔話」の数々。  
かつて「昔話」は、子供達への楽しみや教訓、日常生活意識を反映しながら語られて  
来ましたが、情報文化の発達した今日、「昔話」は大変貴重な日本の伝承文化財産とな  
っています。  
このCDでは全国のそれぞれの地域に昔から伝わる「昔話」を中心に、現地の語り手によ  
って地元の言葉で現地収録しました。  
大人や子供達にとっていつまでも「心のふるさと」として、今後私達の生活の中で育まれ  
ていきますことを、心から願っています。



全65タイトル好評発売中!

美しいことばと豊かな心

## Roudoku Series 朗読CDシリーズ心の本棚

- 【第一弾】 CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)
- 【第二弾】 CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)
- 【第三弾】 日本の詩歌 CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)
- 【第四弾】 名作を聴く CD全10タイトル 各¥2,000円(税込) / 2枚組各¥3,500円(税込)
- 【第五弾】 日本人のこころと品格 CD全10タイトル 各¥2,000円(税込)